

頌徳会グループのご案内 (平成31年3月1日現在)

診療	診療時間帯	予約制	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00～12:00 午後14:00～16:00	午前	●	●	●	●	●	●	専門診療科と連携しつつ総合的な視野で診療を行っています 訪問診療も対応しています
脳神経外科		午前	—	●	●	—	●	●	脳神経全般に関する診断から治療までを行っています MRIによる検査も受付けています
整形外科	○急な風邪の症状や下痢・発熱等の比較的軽度な内科症状であれば、夜間、平日、日曜、祝日問わず、時間外診療を行っています。	午前	—	●	●	●	●	—	レントゲン・CT・MRI撮影などにより診断・治療を行っています
外科・形成外科		午後	○	—	—	●	—	—	
神経内科		午前	—	—	●	—	—	●	小さな外傷や皮膚腫瘍等の診療を行っています
		午前	○	●	—	—	—	—	訪問診療(脳梗塞等)も対応しています

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:30 夜間 17:30～19:30	●	●	●	●	●	●	一般内科の他、循環器、呼吸器疾患を主に診療しており、胃カメラ、超音波などの検査が可能です
整形外科	午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:30 夜間 17:30～19:30	●	●	●	●	●	●	レントゲン・CTなどを利用して総合的に診断しています
リハビリテーション	午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:30 夜間 17:30～19:30	●	●	●	●	●	●	理学療法士によるリハビリテーションを行っています (受け付けは、終了時間の30分前までとなっています)
皮膚科	午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:30 夜間 17:30～19:30	●	●	●	●	●	●	皮膚疾患の他、膠原病、リウマチ疾患も診断しています
アレルギー科	午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:30 夜間 17:30～19:30	●	●	●	●	●	●	乳児の食物アレルギーも診断しています (土曜日は第1・3・5週に診療を行っています)
形成外科	午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:30 夜間 17:30～19:30	—	—	●	—	—	—	水曜日午後診のみ予約制で手術を行っています ほくろ・脂肪腫・ひきつれ等以外にも様々な疾患を取り扱っていますので、ご相談ください
禁煙外来	午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:30 夜間 17:30～19:30	●	●	●	●	●	—	保険診療による禁煙治療を行っています 初診の方は午前のみ診察を行っています
腎臓内科	午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:30 夜間 17:30～19:30	—	—	●	—	●	—	腎臓病と腎臓病に付随する疾患の診断と治療を行っています (完全予約制)

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
早朝透析	6:00～	—	●	—	●	—	●	無料送迎バス完備
午前透析	8:30～	●	●	●	●	●	●	
午後透析	～17:00	●	●	●	●	●	●	
夜間透析	～22:00	●	—	●	—	●	—	

介護老人保健施設 ソルヴィラージュ	堺市東区北野田636番地	TEL 072-235-5800	●入所・ショート(短期入所):150名 ●デイケア:100名
介護老人福祉施設 ソルメゾン	堺市東区菩提町2丁62番地1	TEL 072-288-2008	●入居:80名/ショート(短期入所):20名 ●デイサービス50名
おひさまケアプランセンター	堺市東区北野田626番地	TEL 072-235-7722	[ケアマネージャーが要介護認定の申請代行等、介護サービス利用のお手伝いをします]

★最新情報をホームページ <http://www.syo.or.jp/> に掲載しています。ご見学、ご相談など随時承っておりますので、お気軽に各施設までお問い合わせください。

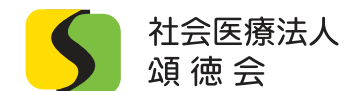


地球環境保護のため、この印刷物はベジタブルインキを使用しています。また、有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。

頌徳会・頌徳福祉会と地域を結ぶ情報誌

ひだまり

2019
春号
Vol.11 No.47



日野病院
日野クリニック
介護老人保健施設 ソルヴィラージュ
介護老人福祉施設 ソルメゾン

頌徳会グループ広報誌「ひだまり」2019 春号 Vol.11 No.47

発行/社会医療法人 頌徳会 総務部

★ご希望の方に無料配布します

デザイン/so much



CONTENTS

- 2 特集
目標指向的アプローチの実践
～日野病院リハビリテーションの取り組み～
- 4 頌徳会グループお役立ち情報
- 7 理事長コラム
- 8 頌徳会グループのご案内

おかげさまで
頌徳会グループ創業



目標指向的アプローチの実践 ～日野病院リハビリテーションの取り組み～



日野病院回復期リハビリテーション病棟では、入院中に集中的にリハビリテーションを行い、ただご自宅に帰っていただくのではなく、お一人おひとりの生き甲斐に沿ったアプローチ(目標指向的アプローチ)を目指し、医師・看護師・リハスタッフ・相談員等多職種によるチームで、その理論に沿った実践に取り組んでいます。

「目標指向的アプローチ」に沿った取り組みのご紹介

1. リハビリテーション勉強会の実施

まず、日野病院の特長であるリハビリテーションの質の向上、及びリハスタッフをはじめとする職員のリハビリテーションに対する認識の統一を目的として勉強会をスタート。日野病院が目指す「目標指向的アプローチ」を実践していく中での考え方や課題を発表し、医師をはじめとする多職種スタッフで議論を交わしています。その後、勉強会の内容をスタッフ間で共有し、目標指向的アプローチに立ったケアの実践に役立てています。

第1回目 勉強会のご紹介



▲勉強会の様子

現状のリハビリテーションにおける課題点を、医師・看護師からの要望やアドバイスを交え、患者さんの退院後の人生を構築するために、「日野病院が目指すリハビリテーション」について白熱した議論が交わされました。



2. 看護師・リハスタッフ・相談員全てを各病棟担当制(配置)で行うように変更しました

【各病棟担当制とした結果】

- 多職種スタッフ間でコミュニケーションが活発になり、情報共有をスムーズに行えるようになりました。(多職種連携の強化)
- リハスタッフが患者さんの病棟での生活を観察することで、より在宅生活のイメージをリハビリテーションに活かせるようになりました。
- 相談員も、日々患者さんの治癒のプロセスを確認でき、ご家族・ご本人との調整や他事業所との連携に役立っています。



▲多職種チームによるカンファレンス

3. 看護師とリハスタッフによる入院時訪問を行っています



入院時訪問では、看護師とリハスタッフが早期にご自宅(周囲も含む)を実際に見て在宅生活を知ること、患者さんがどう生活されているのか、また退院後どのような生活をされていくのかまでを想定します。
→生活を知る
その情報を共有し、患者さんの入院生活とリハビリテーションに活かしています。

4. 「目標指向的アプローチ」に立ったケアの事例

患者さんデータ: 83歳女性、病状は右視床出血。嚥下障害あり。経管栄養状態で入院。

チームの最終目標:
食事摂取を軽介助にまでアップ

患者さんの希望(お寿司が食べたい)をかなえるためにNSTチームでカンファレンスを行う。

- ご本人の希望:
大好きなお寿司が食べたい
- ご家族の希望:
何とか口から食事を食べさせたい

- ✓握りの種類で柔らかいものは何か→マグロのトロに決定
- ✓STが評価
- ✓看護師が食事介助

患者さん: 満面の笑みを浮かべ、「おいしいわ」と3貫召し上がる

この食事をきっかけに、現在は軽介助で自己摂取可能となる

<ご本人・ご家族の希望とチームの目標を達成>



今後も患者さんのより良い人生に寄り添えるよう、日野病院では多職種協働で支援してまいります。

3F・4F 病棟にリハビリテーション室を新設しました!



各病棟フロアにリハビリテーション室を新設したことにより、リハスタッフと病棟スタッフ双方が患者さんの状況を確認しやすくなり、また、患者さんとリハスタッフの2Fリハビリテーション室までの移動距離の短縮を図ることができました。これらにより、さらなる充実したリハビリテーションの提供が実現しました。

患者さんからは、「病棟にも運動できるスペースができてよかった」と好評をいただいています。



「いつまでも、美味しくお食事を召し上がっていただくために」をコンセプトに、日野病院での口腔ケアの取り組みをシリーズでお届けしています。今回は第4弾「栄養士によるNSTの取り組み」についてご紹介します。

NSTチームでは、日々、リハスタッフや看護師・歯科衛生士が関わって、飲み込む力の強化を図っていますが、「生きる力を支える」ためには、必要な栄養も摂らなければなりません。そこで、退院後を見据えて、ご自宅で好きな物をその方の食べることが可能な形態にできるよう、リハ室の調理場で2回にわたって管理栄養士がご家族と一緒に調理を行いました。

患者さんデータ：Aさん 95歳 女性 病名：誤嚥性肺炎 入院時は食べられるものがほとんどなかった

1回目 患者さんの好物のパン、ぜんざいを持参：
パン→パンがゆ、ぜんざい→とろみをつける



▲パンがゆ



▲左：持参されたぜんざい
右：とろみぜんざい

2回目 おかずの調理：おでんの大根→おでん大根ゼリー
主食の調理：おかゆ→おかゆゼリー



▲左：持参されたおでんの大根
右：おでんの大根ゼリー



▲左：持参されたおかゆ
右：おかゆゼリー

2回のどちらとも、患者さんにむせることなく喜んで食べていただきました。退院時には、調理の負担も考慮し、市販のムース食を取り入れることも提案させていただきました。

退院1ヶ月後の
通院時の状態

ご家族が継続して調理を行ったことにより食事がアップ。咀嚼力がつき、形態レベルを上げた食事でも摂取可能となりました。

2018年12月1日(土)より自動精算機を導入しました！



日野病院では、診療後の会計の待ち時間解消のため、2F待合室に自動精算機を導入し、当日受診の外来診療費や入院診療費の精算にご利用いただけるようになりました。お支払いは、現金のほか、ICチップ付きクレジットカード(一部お使いいただけないカードもあります)、デビットカードがご利用いただけます。

精算機のご利用方法



初期画面



①診察券を入れる。
もしくは「精算案内書」の
バーコードを読み取る。



②料金が表示される。



③支払い方法を選
択する。



④現金を投入、もしくは
クレジットカードを入れ
暗唱番号を入力する。



⑤精算終了後、
領収書が発行される。

麻疹(はしか)が2019年に入り流行しています！

昨年から今年にかけ、麻疹(はしか)や風疹の感染拡大により、全国で大流行しています。頌徳会グループでは、平成30年1月から主要感染症である「麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)」の抗体価検査及び陰性者のワクチン接種を全職員を対象に実施し、院内での感染防止や他者への感染源にならないための予防対策を行っています。

初めてご利用いただく方や、機械の取り扱いが不安な場合は、受付スタッフまで、ご遠慮なくお申し出ください。

利用時間：8:30～18:00
(土日祝日もご利用いただけます。)

入所フロア お正月の縁日の様子

ソルヴィラージュでは、初詣に外出を行うことが難しい入所のご利用者の皆さんを対象に、「神社の縁日」をイメージしたイベントを行いました。職員が巫女の衣装や、法被を着て縁日の雰囲気を盛り上げ、短い時間でしたがご利用者の皆さんに楽しくすごしていただきました。



当日の出店屋台

- おみくじ・コイン落とし・福笑い
- 一銭焼き・綿菓子

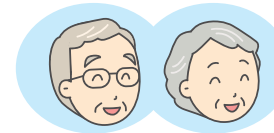


▲あら、意外と普通の顔になってるわあ



▲綿菓子も一銭焼きも懐かしくておいしいよ

ご利用者の声



- コイン落としを初めてやったけど面白かった。
- 一銭焼きのソースの味が食べやすく美味しかった。
- 1階の広いところで色々遊べて楽しかった。

これからもご利用者の皆さんに、たくさんの笑顔でおすすめいただけるように、楽しいイベントを企画してまいります。

日野クリニック

BCPの取り組み ～台風21号を教訓にして～

記憶に新しい、2018年9月4日(火)に大型台風21号が47年ぶりに近畿地方を横断し、各所に甚大な被害をもたらしました。日野クリニックでは、外来の診療時間ではなかったものの、2Fでは透析治療が行われている最中でした。職員全員で患者さんを1Fへ避難誘導し、翌日は通常通り診察を行うことができました。災害を通して判明した課題点と、その後の取り組み結果は以下の通りです。

課題点

- ✓ 懐中電灯等簡易照明器具の追加備蓄
- ✓ 水や薬品保管のための保冷剤、ケース等の追加備蓄とその管理
- ✓ 患者さんに不安を与えないよう避難訓練の強化
- ✓ 待機中の患者さんのための体調管理マニュアル作成

取り組み結果

- ✓ LEDランタン、ヘッドライト購入
 - ✓ 簡易トイレの補充検討
 - ✓ 半年に一度の避難訓練実施
 - ✓ 体調管理マニュアル作成
- 今後その他の課題についても、検討し対応していく予定です。



▲非常用避難車による避難の様子(当日の様子)



▲駐車場のフェンスも強風の被害に(当日の様子)



▲停電中数名の患者さんが待機(当日の様子)



▲10月に行った報告会

お食事の取り組み ~イベント食のご紹介~

ソルメゾンでは、給食自営後、実演料理やオリジナル企画で、様々な工夫を凝らし、ご利用者の皆さんからご好評をいただいています。今回は、様々なイベント食の取り組みをご紹介します。



◆クリスマスバイキング・握り寿司実演



~ソルメゾン特製バイキング~

- | | |
|--|---|
| ◆寿司◆
まぐろ/えび/サーモン/たまご | ◆メイン◆
エビフライ/フライドチキン/
鶏つくねの照り焼き
ローストビーフ |
| ◆スープ・パン◆
コーンスープ/ミックスサンドイッチ | ◆デザート◆
ストロベリー or チョコムース
カクテルフルーツ |
| ◆前菜盛り合わせ◆
若鶏の紹興酒蒸し 特製葱生姜ソース
自家製アトランティックサーモンのマリネ
干豆腐と野菜の和え物/煮豚 | |

デイサービスでは、総料理長による握り寿司の実演を行い、ご利用者の皆さんに握りたてを召し上がっていただきました。特に、マグロが大人気でした。

◆牛ステーキのフランベ実演

少し焼き色がついたステーキに、ブランデーで風味をつけ、火をつけてアルコールを飛ばす「フランベ」の実演を行いました。近くでご覧になったご利用者からは、「わーっ!」と歓声があがりました。「やわらかくて食べやすい」「お店に来たみたい」と大好評でした。



▲ブランデーの炎が上がって、迫力満点!



◆旅するグルメ



「旅するグルメ」は「食の旅」をコンセプトに、ご利用者の皆さんに旅気分を満喫していただく。と、毎月、日本全国・世界各地の風景や観光スポットを、音楽と共にスライドで紹介する新しい食事イベントです。

第1回目の旅行先は、一度は行ってみたい都道府県ランキングNo.1の「北海道」。「ラベンダー畑は3回も行ったわ」「雪まつり、きれいやったよ」とご利用者の皆さんは、次々と紹介されるスライドをご覧になりながら、楽しそうにお話をされていました。また、その後のお食事「味噌ラーメンのスープ美味しいわ」「ハスカップジャム初めて食べたわ」と堪能されていました。



これからも、あらゆる部門のスタッフの力を集結させて、ご利用者の皆さんにパワーを与えられるような、心躍るお食事を提供してまいります。



去る1月26日、頌徳会40周年記念祝賀会が行われました。10年前には30周年祝賀会を行っています。10年間の間に何があったか思い起こすと、たくさんの出来事がありました。さらに磨き上げなければいけないことはリハビリテーション機能です。自分の話になって恐縮ですが、最近、リハビリテーションを受けています。前号で書いた400m弱の「庭園の散歩」です。「外出がおっくうになった」ことを自覚し、これは「廃用症候群になると大変だ」と思って始めたものです。さて「廃用症候群」とは、「外出する意欲の低下」→「ひきこもり」→「運動不足」→「筋力・体力の低下」→「ますます外出しなくなる」→という「悪循環」のことを指しています。放置しておくともこのまま廃人への道をまっしぐらでこれは大変な恐怖です。

日本の常識として、「病気になったら安静にする」

というのがありますが、「悪循環」の入り口にもなります。特に高齢者は自らを励まして運動しなくなると、これも同じ「廃用症候群」になります。宇宙飛行士が無重力状態の宇宙から帰還するとしばらくは歩くことができません。同じような姿勢でずっといるわけですから、考えてみれば「寝たきり状態」です。老若を問わずこの「廃用症候群」は襲います。若い人の外傷後の安静も危険です。高齢者が安静にすると1週間で筋力、体力は20%低下します。もう1週間するとさらに20%、2週間で36%、3週間で48.8%の筋力、体力が半分以下に低下してしまうという現実があります。

さて、どう予防するかというと、私が行っている散歩(30分程度でも良い)がお勧めです。とにかく閉じこもって横になるのは「寝たきり」に繋がっていることを知っておくことが大事です。「散歩」ができない場合でも、横になってはいけません。休みたくなったら座位がお勧めです。座位をキープするのはエネルギーが要ります。低いレベルながら運動していることとなります。「座りつきり」がお勧めです。

頌徳会グループ

頌徳会グループ創業40周年記念祝賀会



2019年1月26日(土)にホテルアゴラリージェンシー堺にて、「頌徳会グループ創業40周年記念祝賀会」を行いました。当日は、職員276名に加え4月に入職予定の内定者とそのご家族も招待し、294名の参加者が集う盛大な祝賀会となりました。

メインイベントでは、国民栄誉賞を受賞した囲碁の天才棋士「井山 裕太五冠」の師匠「石井 邦生九段」と理事長の対談が行われ、「人の育て方」「人の絆」等記念祝賀会にふさわしいお話があり、終始なごやかで楽しい時間となりました。



▲挨拶を述べる日野理事長

頌徳会グループ
理念

生命の花を咲かせます 生きる力を支えます 力を活かして支えます